

事業の名称：鍋っこ鍋山探検～今年はどうな発見があるかな？～

団体名	躍動と安らぎの里づくり鍋山	事業費	189,000円
代表者	会長 秦 美 幸	補助金交付額	160,000円

現状と課題

少子高齢化や若い世代の他地区への移住などにより、一人世代や高齢者世代が増加するなか、これらの方々の生活をどのように見守っていくかが課題であり、これらの課題解決を担うべき地域の担い手の育成や確保が課題となっている。

事業の目的

鍋山の子供たちに、記憶に残る「よき鍋山地区」の思い出づくりの場を提供することにより、一旦は大学・就職等により地元を離れたとしても、将来「よき鍋山地区」にUターンし定住してくれること、鍋山地区の担い手となってくれること、を本事業の目的とする。

実施内容

◇実施状況

鍋山の子供たちを対象に、記憶に残る「よき鍋山地区」の思い出づくりの場として「鍋っこ鍋山探検」事業を計画したものであり、令和6年8月23日、鍋山交流センターに集まり、永井隆記念館に移動、藤原館長様から博士の生い立ちなどご説明いただき館内を見学した後、明石公園に移動、モルックの体験を通して子供たちの交流を深め、続いて深谷温泉に移動、秦会長から温泉についてお話しを伺い、温泉のなかを見学、引き続き鍋山交流センターに戻り、全員でお弁当をいただき、午後からは地元根波地区の獅子舞保存会の皆様から獅子舞の歴史や獅子舞の演舞についてご説明いただき、子供たちははじめての獅子舞に挑戦するなど興味深く体験している様子だった。

◇成果と課題

鍋山地区における自然・景勝地・歴史的資源・温泉施設などの地域資源や地域に継承される伝統文化に触れる機会をもった子供たちが、成人になったときに、記憶に残っているここ鍋山地区に一人でも多くUターン・定住し、地域の担い手となってくれることを期待したいと考えている。

